

Q9 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)とは、どのような病気ですか。

異常プリオンたん白質が脳内に蓄積することで発生すると言われているクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の1つであり、他にも孤発性CJD、硬膜移植後CJD、遺伝性CJDなどが知られています(詳細は以下のとおり)。

このうちvCJDは、BSE感染牛の特定危険部位の摂取またはvCJD感染者からの輸血が原因と考えられており、若年者(平均20歳代)に発症が多く、他のCJDとは脳波等が異なることから区別されます。

全世界でこれまでに222人が発症し、このうち英国においては174人(2011年1月時点)となっており、ほとんど英国に集中しています。また、我が国では1人(2011年1月時点)報告されていますが、英国滞在時の曝露の可能性が現時点では有力と考えられています。

(参考)vCJD以外のCJD

○孤発性CJD

通常は60歳代を中心に約100万人に1人の割合で発症する。

我が国では、812例(平成 11年 4月 1日～平成 20年 2月 8日)報告されている。

○硬膜移植後CJD

脳外科手術に用いられた乾燥硬膜に、適切に処理されていない孤発性CJD由来の硬膜が混入し、手術を受けた患者に伝播することにより発症する。

我が国では、69例(平成 11年 4月 1日～平成 20年 2月8日)報告されている。

○遺伝性CJD

遺伝により発症し、家族性CJDなどがある。

我が国では、165例(平成 11年 4月 1日～平成 20年 2月 8日)報告されている。

出典) 孤発性CJD、硬膜移植後CJD、遺伝性CJDの発症数は、厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患克服研究事業「プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班」(平成 20年 7月 9日)より